

南葛飾 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 家庭科 科目 家庭基礎

教科： 家庭科 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当者： （1組：吉本未来）

使用教科書： （未来へつなぐ 家庭基礎365（教育図書））

- 教科 家庭科 の目標：
- 【知識及び技能】 生活を主体的に営むために実践・体験的な学習を通して必要な基礎的な理解および技術を身につけるようにする。
  - 【思考力、判断力、表現力等】 生活の中から課題を設定し、解決策を根拠に基づいて表現するなど生涯を見通して課題を解決する力を養う。
  - 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し地域社会に参画しようとし、自分や地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族や福祉、消費生活、衣食住、生活設計などに関する基礎的な知識や技術を実践的・体験的な学習を通して総合的に身につけるようにする。	生活の充実を図るための課題を見だし、解決を目指して思考を深め適切に判断し工夫する能力を養う。	自分の生活や地域・社会生活の充実及び向上に関心をもち、様々な人と協働しながら主体的に取り組む実践的な態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 生涯の生活設計</p> <p>【知識及び技能】 各ライフステージの特徴と課題を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の人生のライフイベントを想定しまとめたり発表することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 人生の目標を立てそのための意思決定について考える。</p>	<p>あなたの将来どうする？ ライフステージ ライフイベント 家族のありかた 意思決定・目標設定</p> <p>&lt;教材&gt; ・教科書 ・DVD・VTR資料 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 これからの人生で起こりうるライフイベントについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 これからの自分の生活について想像し目標を設定することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 人生の目標達成のために必要なことやリスクについて自ら調べようとしている。</p>	○	○	○	2
<p>B 青年期の自立と家族・家庭</p> <p>【知識及び技能】 青年期について理解する。社会の変化に伴う家族・家庭の変化について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 家族・家庭とは何かを様々な観点から考え自分なりの価値観を築く。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分や他者の性を尊重することの大切さを理解する。</p>	<p>青年期の自立 家族を築くということ 家族と社会</p> <p>&lt;教材&gt; ・教科書 ・DVD・VTR資料 ・ジェンダーゲーム ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 現代の家族の特徴について、家族機能の変化や人々の意識の変化などから理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 青年期をどのように過ごすかや、これからの家族・家庭や性のあり方について考え、まとめたり、発表したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 青年期の課題や家族・家庭・性のあり方についての学習を自分の問題として捉えようとしている。</p>	○	○	○	2
<p>C 子どもの生活と保育</p> <p>【知識及び技能】 子どもの発達に応じて適切に関わるための知識を身につけさせる。保育における親や大人の役割 子どもを生み育てる意義、発達段階に応じた関わりの重要性を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義をとらえ、子どもが育つ適切な環境について考え意見をもつ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分が将来保育に関わる存在であることを理解し、自分ごととして学習に取り組もうとする。</p>	<p>妊娠期の特徴(実習含む) 子どもの成長の特徴(実習含む) 子どもの遊びと感覚(実習含む) 親の役割と生活習慣 日本の子育て事情 子育てを支える仕組み</p> <p>&lt;教材&gt; ・教科書 ・DVD・VTR資料 ・マタニティスーツ ・新生児人形 ・絵本 ・折り紙 ・ぬり絵 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 子どもの心身の特徴や発達、生命の尊さ子どもの遊びの意義や文化について理解している。保育における親や大人の役割、生活における人との関わりの重要性を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 親の役割や子どもを生み育てることの意義について考え、まとめたり発表したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 子どもの発達段階に応じて、工夫しながら関わりかたを考えている。</p>	○	○	○	22

